

○センターのイベント案内○

会場はすべて浜松まちづくりセンターです。



- 1月22日 「まちづくり - 私達がめざしているものは - 」 地域の独自性を見つめ、まちづくりについてみんなで真剣に取り組んでみたい。都市も生き物のように一人ひとりの協力によって、いいまちに育っていくでしょう
- 2月19日 「高齢者が抱く若者のイメージ」 高齢者から見た”わたし”とは?という疑問を解決するために、静岡文化芸術大学生が調査、発表します。
- 3月11日 「学生発!!まちづくりトライ&エネルギー」 ユニバーサルデザインの車イスづくり・明治時代の素封家がつくった浜松・演劇ワークショップによるまちづくり。と豪華三本立てで文芸大生が発表します。

時間 19:00 ~

まちづくりセンターまつり

3月13日(土) 14日(日) センター内全館
年に一度のセンターまつりです!!まちづくり活動を行っている市民グループによる発表や展示のほか、だれもが楽しめるにぎわいイベントがいっぱいあります。みなさんぜひお越し下さい。

<予定しているイベント・出展など>
まちづくり活動発表会、まちづくり作品展、防災や環境のまちづくり用品紹介、ポッチャ大会、積み木を使ったまちづくり学習、学生による食のお店、ダンボールクラフト、まちづくり応援グッズ(折り紙や布を使い達人が指導)、子供達の太鼓演奏など

※まちづくり活動発表会やポッチャ大会に参加する団体を募集しています!

まちづくりよもやま会議

～みんなで考えよう、地域のまちづくり～
自分たちが住んでいるまちの良いところや自慢したいところを生かし、また地域の問題をみんなで解決する
テーマ:「都市づくりの動きについて」「まちづくりの進め方について」
2月7日(土) 19:00~20:30 北部公民館
2月14日(土) 19:00~20:30 東部公民館
2月21日(土) 19:00~20:30 南部公民館
2月28日(土) 19:00~20:30 西部公民館

○団体からのお知らせ○

- 特定非営利活動法人 色彩倶楽部**
親と子のカラーセラピー
お子さんやパートナーの見えない思いを色で感じてみてください。
対象: 子供~大人(親子、友人、カップル)
日時: 2月21日(土) 10:00~16:00
場所: 浜松フォルテガーデン1階
参加費 500円・申し込みは不要です
お問合せ: 053-451-1624
- 国際楽友クラブ**
「13の月の暦」入門
13の暦の説明と共に、自然のリズムに合わせる大切さを考えていきます。
日時: 2月13日 18:30~20:30
場所: まちづくりセンター2階アトリエ
参加費 500円 2月10日までにTel 又は FAXで申し込み下さい。
Tel: 053-471-5448 FAX: 053-473-7311

第四回 浜松よさこい祭り実行委員会
踊り子 2000人がまちを舞台に踊ります。
日時: 3月20・21日 10:30~20:30
会場: 浜松市中心市街地(鍛冶町大通・有楽街・モール街・ザザ中央広場他) 当日スタッフも募集しています!
携帯 090-7618-3659 (野島)
メール noji@hamayosa.com

浜松まちづくりセンター通信 「はままつ風しんぶん」
平成16年2月1日発行(年4回発行予定)
発行: 浜松まちづくりセンター
〒430-0915 浜松市東田町16番地
(財)浜松まちづくり公社
TEL: 053-457-2616
FAX: 053-457-2617
E-MAIL: h-m-c@msi.biglobe.ne.jp
URL: http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp./lifeindex/partnership/city/hudc/

[編集後記]
こんにちは!今日はめずらしく雪が降りました、今年の冬はとても寒い日々が続く、寒がりの私には辛いものです。さて、私事ですが、来年で大学4年生になります、そして就職活動がいよいよ始まります。就職率が毎年低くなっている中で、寒さに負けずに元気にがんばって活動していきたいです。(静岡文化芸術大学三年: 瀧奈都子)



まちづくりフォーラム 協働のまちづくり

協働のまちづくりについて考えていきます

風土・みどり・公園づくり編 平成15年10月11日

みどりを楽しむ、みどりのまちづくり

今回のフォーラムは風土・みどり・公園づくりをテーマに開催されました。千葉大学園芸学部助教授木下勇氏の「みどりを楽しむ」と題した講演と、協働トーク「住民主体のみどりのまちづくり」が行なわれました。講演では、協働による公園作りの例として世田谷のプレーパークで冒険的遊び場の始まりを紹介していただきました。通常の公園では火が使えない、土遊び(穴掘り)が出来ないのですが、プレーパークでは住民が協力し、維持管理体制を整えることにより、木の上に家を作ったり、火を使用することなどを可能にしたそうです。緑からはじまり土・火・水といった根源的素材から街を見てゆき、規制の多い「公」の中に「私」を広げていくことにより、対立も生まれやすいが、コミュニティが広がるとお話ししていただきました。また、協働トークでは、三鷹市のワークショップによる公園作りや世田谷、多治見のコミュニティガーデンを例に行政の呼びかけから住民・市民が自分達のまちへの自主性を芽生えさせていくことの大切さを説明していただきました。

教育・福祉編 平成16年1月31日

地域の力で、みんなで育むまちづくり

教育・福祉編では、地域教育・地域福祉の実践事例を題材に、地域で取り組む協働のまちづくりについて考えました。神久呂地区では、前から実施していた配食サービスやヘルスポランティアの活動の中で地域のニーズを把握し、神久呂地区社会福祉協議会を立ち上げ、現在では家事支援サービスも行っています。現在は課題の多い病院などへの送迎サービスの開始について取り組んでいます。可美地区では、乳幼児の子育てから幼・小・中・高まで地区内の団体の活動により世代を超えた関係づくりが行われ、顔の見える、心つながる地域づくりが行われています。長上地区では、生涯学習ボランティアの「与進の会」が「子ども講座」などの公民館事業の企画・コーディネート・運営までを行ない、同時に中学生を主体としたボランティアを育成し、公民館・学校と地域とを結ぶパイプ役となっています。地域のつながりを大切にし、地域の課題は地域で解決、地域全体で子どもたちを教育していくという協働のまちづくりの姿について考える機会となりました。

夜楽塾は入場無料！
達人のお話を聞きに
皆さんお気軽に
いらして下さい！

夜楽塾 やかくじゅく



第14回 平成15年10月30日

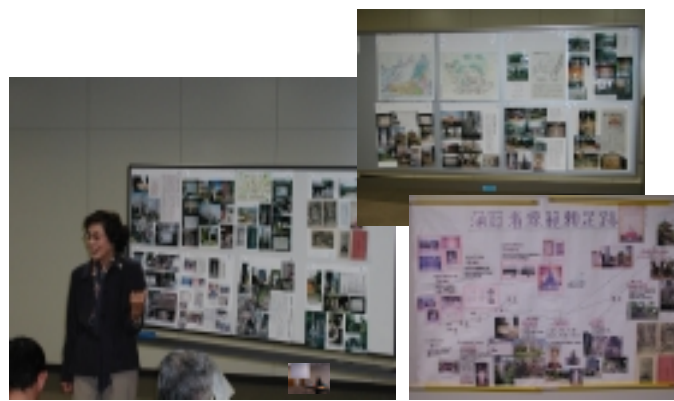
これからの建築について 今回の達人 ケンチクカイギさん

建築論では、(用、強、美)という三つの要素があるといわれています。用は有用さ、強は耐久性・永続性、美は美しさということで、消費されるデザインは飽きられます。日本の風土と合い、何年たっても長持ちするようなデザインが必要なのではと考えています。「建築の力、デザインの力は人と人をつなぎ元気にする力を持っています、良い遺産を残して行きましょう」という建築のお話でした。



第15回 平成15年11月13日

蒲御厨と源範頼 今回の達人 吉田和子さん



源頼朝を兄に、源義経を弟にもつ源範頼の生涯の足跡を、範頼の生い立ちから、最期までを、たくさんの地図と資料を使い説明してくれました。

また、蒲御厨とは蒲の地を開拓支配し伊勢神宮に寄進した人物であり、御厨とは、伊勢神宮などに認められた荘園のよびなであります。源範頼は蒲御厨の荘官の藤原季成のもとに密かに隠れ育てられました。

たくさんの地図を使い源範頼の足跡を紹介していただきました

第16回 平成15年11月27日

浜松市の現状と取り組み 今回の達人 久米秀幸さん

第四次浜松市総合計画の内容を中心に、浜松市の現状や課題、様々な取り組みについて紹介しました。現在の浜松市の抱える課題や問題とは、少子高齢化、高度情報化、国際化(グローバル化)価値観の多様化であり、これらを解決していくための具体的に市として取り組んでいること、計画などを分かりやすく説明していただきました。



まずは自己紹介からしていただきました。市役所の職員さんです。

第17回 平成15年12月19日

ニュージーランド漫遊記 今回の達人 川嶋正芳さん



川嶋さんには外国人のメールフレンドが3人もいます。

独自のプランでニュージーランドを漫遊してきた川嶋さん(市役所土木部長)が実際に訪れ、見てきたことや、心に残った自然のすばらしさを地図やパワーポイントの写真を使い、メールフレンドの3人を訪ねに行ったお話しも踏まえて語っていただきました。

新しいまちづくりをみんなで！！

区画整理を行っている西都地区や高竜地区で、住民の皆さんによるまちづくりが進められています。センターはワークショップや意見交換会の企画、進行などのサポートを行っています。

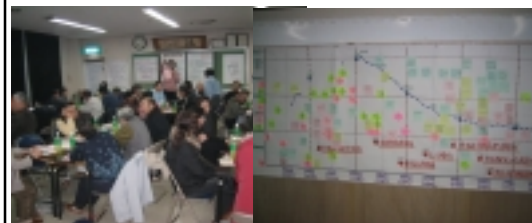
(西都地区のワークショップの様子)



カードを使って
全員で意見交換！

「どんなまちを目指していこうかなあ・・・」

(高竜地区のワークショップの様子)



住民同士の間でも活発な話し合いになりました

みんなでまちづくり年表をつくりました
「昭和5年ピーク人口12,000人だったのが、今4,000人！どうする!？」

ユニバーサルデザイン学習の開催

学校教育でもユニバーサルデザイン学習がとて盛んに行われています。まちづくりセンターでも多くの児童が訪れ、施設の見学や、障害者の方との意見交換の場などに活用されています。



北小学校の四年生です。この日は、点字の体験や、障害者の方のお話を聞きました。2003年10月24日



新津小学校の4年生の皆さんです。ユニバーサルデザイントイレの見学中です。2003年11月10日



島田新発見ツアー！！

平成15年10月21日開催(瀧観光主催)

参加者: まちづくりセンター職員 & 静岡文化芸術大学生

静岡文化芸術大学の学生(瀧さん)が島田市のまち歩き企画をプロデュースし、まちづくりセンターの職員が島田市を訪れました。コースの概要は島田市の商店街に完成した新しい顔である「帯どり」という歩行者専用道路(この道路にはシンボルのからくり時計が設置されています)と島田市TMOの訪問、蓬莱橋、マラソンコース、島田市博物館と島田市の魅力が盛りだくさんの内容でまちを案内してくれました。島田市は、江戸時代に大井川



の川越して賑わっていた宿場町ということで、当時の町並みを残した川越遺跡や、島田市の博物館を訪れ、川越文化を知ることが出来ました。

木造歩道橋ギネス認定の蓬莱橋(897.4m)

「市民協働事業の提案に向けて！！」



市民協働とは、市民・市民団体・事業者・市がそれぞれの役割と責務を理解し、共通の課題に向け、共に取り組むことをいいます。

センターでは、4月から市民協働コーナーが設置され、市民や市民団体からの協働事業の提案窓口となっています。現在はホームレス対策やリサイクル問題などの協働事業の提案に向けて、センターでもサポートしながら共に模索中です。

どんどん増えています！新たに加わった「まちづくり関係団体の紹介」コーナー (H16年1月15日現在)

認定	団体名	まちづくり活動の分野	紹介
98	MLJ(南アフリカの音楽を愛好するヨハネスブルグ日本人学校教師の会)	文化・国際理解	南アフリカ在住経験のある教育者たちで結成され、様々な交流事業を通じて南アフリカの魅力を発信していきます。
99	椎ノ木谷保全の会	環境・地域・教育・文化	佐鳴湖の支流新川の上流に広がる椎ノ木谷地区など豊かな自然環境を保全し、里山として復元する保全・研究・啓発を行う。
100	CSN(カレッジ・スチューデント・ネットワーク)	まちづくり全般	地域の大学生が地域の抱える問題に対して主体的に立ち向かい、解決していく事を通して地域の共生を実現する。
101	NPO 地域づくりサポートネット	まちづくり全般・コミュニティ	地域づくり・人づくり・組織づくりの専門的な知識・技術・経験を活かし、住民の立場に立って協働のまちづくりを進める。
102	ごみ減量やらまい会	環境	ごみ問題を、環境からまちづくり、コミュニティの再生という広い視点でとらえ、ごみの減量を考えています。